

授業概要

少子高齢化を始めとした日本の社会構造の変化に伴い、多様化する個人や家族の形と社会との関わりについての視点を深める。また子ども・子育て支援について横断的・縦断的に概観しながら、各地域の特性に応じた様々な自助・共助・共助にまつわり事例を取り上げ、保護者のニーズをくみ取りながら保育士としてどのような地域子育て支援へのかかわり方があるのかについて考察する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（子ども・家族・社会・地域とは何か）
第 2 回	日本の少子高齢化に伴う社会構造の変化
第 3 回	多様化する家族とマイノリティへの配慮の必要性
第 4 回	日本と諸外国の福祉レジームの在り方と子どもの社会参画
第 5 回	日本における子ども・子育て支援①：経済的支援
第 6 回	日本における子ども・子育て支援②：時間的支援
第 7 回	日本における子ども・子育て支援③：人的支援
第 8 回	保育施設の多様化と待機児童問題
第 9 回	地域子育て支援拠点事業（総論）
第 10 回	地域子育て支援拠点事業（各論）
第 11 回	地域子育て支援における今後の課題
第 12 回	諸外国における地域子育て支援（北欧）
第 13 回	諸外国における地域子育て支援（北米）
第 14 回	地域子育て支援に関わる近年の社会政策
第 15 回	地域子育て支援における保育所保育士と他機関・専門職との連携
第 16 回	定期試験

到達目標

現在の子ども・子育て支援の現状や地域子育て支援拠点の種類と事業概要を把握すると共に、保護者のニーズに応じて今後必要な政策・施策について考察し、子ども・子育て支援に関する保育士としての専門性を高める。

履修上の注意

授業内の小レポートや、授業外で行う課題を課すことがある。
私語を慎みながら、発言・質問等は積極的に行うこと。
著しい私語等で授業環境を乱す者については、退出を命じる場合がある。
授業内での携帯電話・スマートフォン等の使用は認めない。

予習復習

予習として配布資料の予告された箇所を授業前までに通読すること。
当該テーマのより良い理解のために、授業内で紹介する参考文献や資料による復習をすること。

評価方法

授業内での発言、提出物の内容等から総合的に評価する。

テキスト

特に定めない。
必要な資料を授業内で配布する。